

□ 要請番号 (NJ30916B51)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブラジル	G254 文化		日系	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

サルバドール日伯文化協会

2) 配属機関名 (日本語)

サルバドール日伯文化協会
日系社会

3) 任地 (バイア州サルバドール市) JICA事務所の所在地 (サンパウロ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

サルバドール日伯文化協会は1975年に設立された。日本語コースや生け花、書道、和太鼓、よさこいソーラン、折り紙、カラオケなどの文化活動のほか、ソフトボール、ゲートボールといったスポーツなど、様々な活動を通して、日本文化の継承や会員の親睦を図っている。年間予算約5万3千米ドル。会員数は950名、うち日系が620名。JICAボランティアは、日本語教育分野や青少年活動など7名の派遣実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ブラジル北部・北東部では特にここ3年ほど、和太鼓のチームが急増しているが技術・理論ともに十分な知識と経験を持った指導者が育っていない。また、協会としては、各地の和太鼓チームに日系子弟を中心とした青少年層の加入を図り、日系社会の活性化につなげたいという希望も持っている。そのため、サルバドール市内の和太鼓チームへの指導と、他地域のチームへの巡回指導を目的として、ボランティアを要請することとなった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。

1. 協会所属の和太鼓チームに対する技術と理論の指導
2. チームへの勧誘を目的とした入門者コースの支援
3. 指導者育成
4. 北部・北東部の和太鼓チームへの巡回指導、講習会の実施

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

桶胴太鼓、締太鼓、長胴太鼓、鉄管、篠笛、チャップ、当たり鉦、拍子木など
練習場あり、協会の会議室・事務室も使用可

4) 配属先同僚及び活動対象者

リーダー1名(27歳男性、日系、ポ語のみ)
副リーダー1名(22歳女性、日系、初級日本語レベル)
コーディネーター1名(52歳女性、中級日本語レベル)
市内チームメンバー約30名(日系8名、8歳から35歳)
このほか、北部・北東部には現在7チームあり、概ね80名程度が活動中

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）5年以上 備考：指導者への技術・理論を指導

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（20～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】